

まちのわだいい

未来の農業を創る

農業者として表彰

鳥取県優秀農林水産業者等表彰式

鳥取県では、県内の農林水産業の発展とその技術・経営の改善意欲の高揚を図るため、農林水産業の発展に功績のあった個人及び団体を表彰しています。

このたび、令和4年度の表彰式が鳥取市民会館大ホールで10月19日(水)に行われ、遠藤耕太さん(富江)、森下真次さん(溝口)が「未来を担う青年農林水産業者」の部門で表彰されました。

遠藤さんは就農10年目から主に白ねぎ・メロン・ほうれん草を生産し、安定した経営を続け事業拡大を図っています。森下さんは白ねぎの栽培を中心に年間約100aを生産し、持続可能な農業を目指して尽力されています。おふたりとも地域を担う若手農業者として期待され、その意欲的な取り組みが評価されました。



森下さん(左)と遠藤さん(右)

シニア向けスマホ講座

安全なスマホの活用と

消費生活トラブルの対処を学ぶ

伯耆町と鳥取県消費生活センター、ソフトバンク株式会社は10月26日(水)、スマートフォン(以下、スマホ)の基本操作とインターネットを介した消費生活トラブルの対処について学ぶ出前講座を溝口公民館で開催しました。

参加したのは、スマホを持っているが使い方がわからぬ、何かトラブルにあったときにどう対処したらいいのか知りたいという町内の70〜80代5人。スマホ利用による消費者トラブル事例を鳥取県消費生活センターの職員から聞き、対処法について学びました。また、講師を務めるソフトバンクの社員3名に教わりながら、地図アプリやカメラ、音声検索などをスマホで体験しました。



地図アプリの拡大縮小の方法を講師に教わる参加者

参加者は「話すだけで検索ができるなんて知らなかった。うまく使えるととても便利で面白いと感じた」と話しました。

本講座は、デジタル活用に不安のある高齢者等に対し、無料でその利用方法とトラブルの対処法を学べる講習会の開催を支援する、県の事業の一環で行われました。

より良い牛びへりを目指して

伯耆町産和牛「もとはなまる」

県共で最優秀賞

鳥取県中央家畜市場(琴浦町)で10月29日(土)、県内生産者が和牛の改良技術を競う令和4年度鳥取県畜産共進会(通称…県共)・和種種牛の部が開催され、年齢などに応じた5つの種目ごとに、出品牛全41頭が審査されました。

そして、伯耆町生産者が出品した和牛が第2区、第3区、第5区で優等賞主席を獲得するとともに、第3区(若雌の部)優等賞主席・篠田晴郎さん所有の「もとはなまる」が出品牛で最も優秀な牛としてブランドチャンピオンに輝きました。

篠田さんは「どうしたらより良い牛になるか考えながら牛と毎日向き合ってきたので、今回ブランドチャンピオンに選ばれてうれし。より良質な牛を育てられるよう、技術を向上させ、引き続き頑張っていきたい。」と話しました。



最優秀賞に選ばれた「もとはなまる」と篠田親子